



MODEL 3

緊急対応ガイド

本ガイドは、訓練を受け認定された緊急要員および初期対応要員を対象にしており、安全システムの仕組みを包括的に理解し、緊急事態に安全に対処するのに必要な適切な訓練および認定を受けていることを前提としています。本ガイドは、緊急事態時に完全電気式の Model 3 を理解し安全に取り扱うために必要な具体的情報のみを掲載しています。Model 3 の確認方法、高電圧コンポーネント、エアバッグ、膨張用シリンダー、シートベルトプリテンショナーおよび車体構造に使用する高強度材などの配置や説明を記載しています。本書では、高電圧解除手順、Model 3 に関する安全面の注意点を説明しています。大怪我や死亡事故に至ることがないように、推奨の対処法や手順に必ず従ってください。

主な動力源は高電圧バッテリーです。Model 3 には、従来のガソリンやディーゼルのエンジンは搭載されていないため、燃料タンクが装備されていません。本ガイドの画像が対象の車両と一致しない場合があります。



安全ガイド.....	2
重要な安全指示.....	2
警告.....	2
車両の識別.....	3
バッジおよびドア ハンドル.....	3
車両識別番号 (VIN).....	4
タッチスクリーン.....	5
電気車両コンポーネント.....	6
高電圧コンポーネント.....	6
高電圧バッテリー.....	7
高電圧ケーブル.....	8
ドライブ ユニット.....	9
12V バッテリー.....	10
車両を安定させる.....	11
車輪 4 本すべてを車輪止めで固定.....	11
ギアをパーキングを入れる.....	11
高電圧システムの無効化.....	12
電源遮断ループ.....	12
電源遮断ループの切断.....	13
エアバッグとコンポーネント.....	15
エアバッグ.....	15
エアバッグ膨張用シリンダー.....	16
シートベルト プリテンショナー.....	17
補強材.....	18
補強材と超高強度鋼.....	18
切断禁止ゾーン.....	19
救助作業.....	20
全体もしくは一部が水没した車両.....	20
フロアパンへの荷重.....	20
消火作業.....	21
高電圧バッテリー - 火災による損傷.....	22
車両を持ち上げるには.....	23
ジャッキアップ ポイント.....	23
車両を開放.....	24
車外からドアを開ける.....	24
電力のある状態でドアを車内から開ける.....	25
電力なしでフロント ドアを開く.....	26
ボンネットを開放.....	27

トランクの開け方.....	30
車両を押す.....	31
車両を押す.....	31
高電圧ラベル.....	32
高電圧ラベルの例.....	32
お問い合わせ.....	33
お問い合わせ.....	33



重要な安全指示

この文書には、緊急時における Model 3 の取り扱いに関する重要な指示と警告が含まれています。

メモ：本文書の図は、北米の左ハンドル車両（LHD）を示しています。他に記載がない限り、右ハンドル車両（RHD）については左右反対の位置と考えてください。

メモ：Model 3 は、北米に限り、エアバックを装備しています。

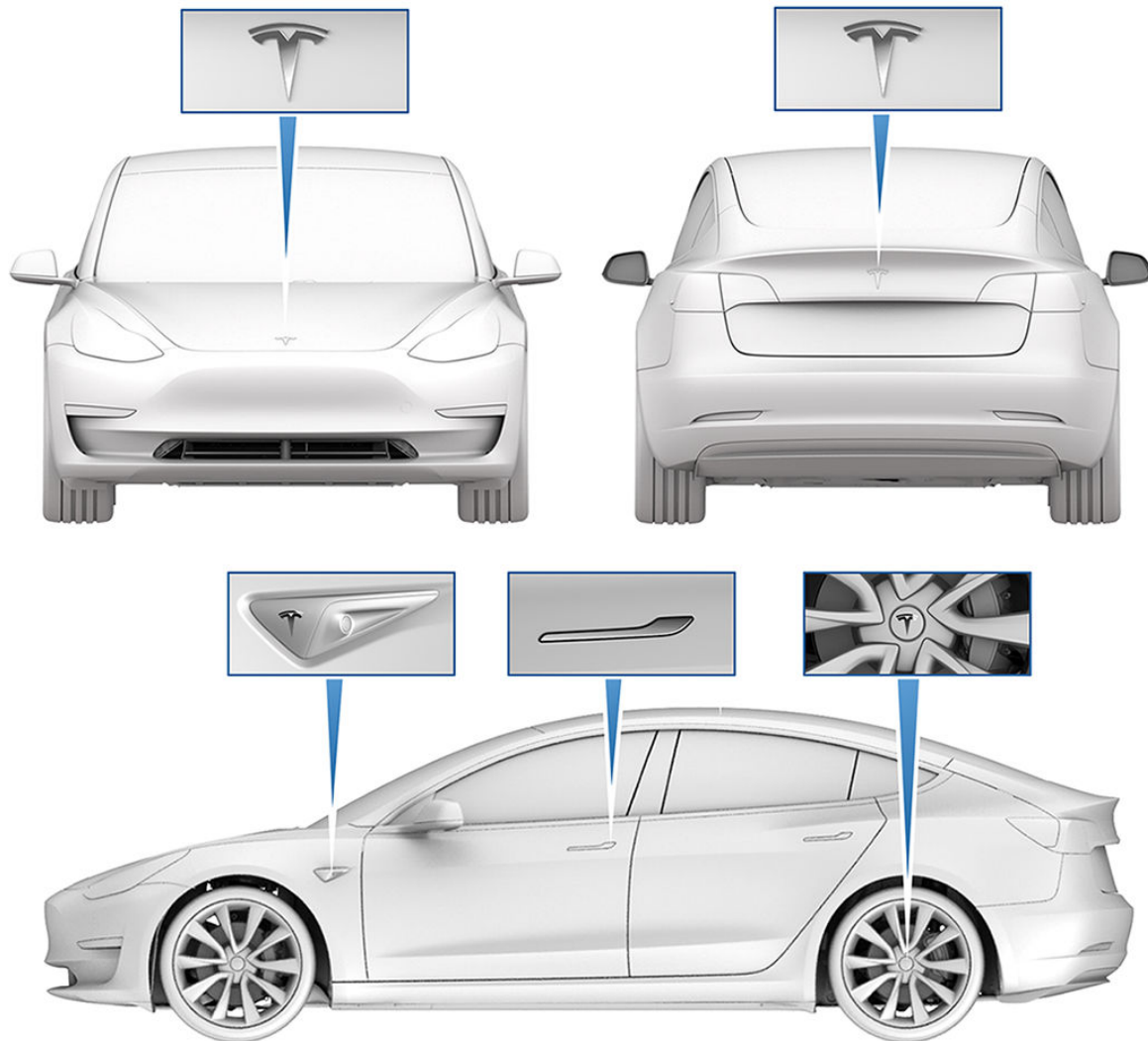
警告

- ▲ **警告：**Model 3 を切断する場合は、油圧カッターなど適切なツールを使用し、必ず個人用保護具（PPE）を着用してください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。
- ▲ **警告：**無効化の手順に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。大怪我や死亡事故を防ぐためにも、高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触がないようにしてください。
- ▲ **警告：**高電圧回路を無効化した後、放電するのに 2 分かかります。
- ▲ **警告：**補助拘束装置 (SRS) の制御装置には、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約 10 秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから 10 秒間は、SRS 制御装置に触れないでください。
- ▲ **警告：**適切な PPE を着用しないで水没した車体を取り扱うと、大怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- ▲ **警告：**火災が発生した場合は、車両全体が通電されていることを考慮してください。必ず、自給式呼吸器 (SCBA) を含む完全な PPE (個人用保護具) を着用してください。
- ▲ **警告：**高電圧遮断ループを切断する際は 2 か所を切断し、切断部分をすべて取り除いてください。これにより、切断されたワイヤが誤って接触するリスクを回避します。
- ▲ **警告：**リアホイールが地面に接地している状態では、決して車両の輸送を行なわないでください。タイヤを回転させると重大な損傷または加熱につながる恐れがありますまれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。

バッジおよびドア ハンドル

Model 3 は、Tesla バッジおよび特自形状のドアハンドルで確認することができます。

メモ：Model 3 のトランク RH 側にデュアルモーター仕様（四輪駆動）であることを示す「DUAL MOTOR」バッジが付いている場合があります。





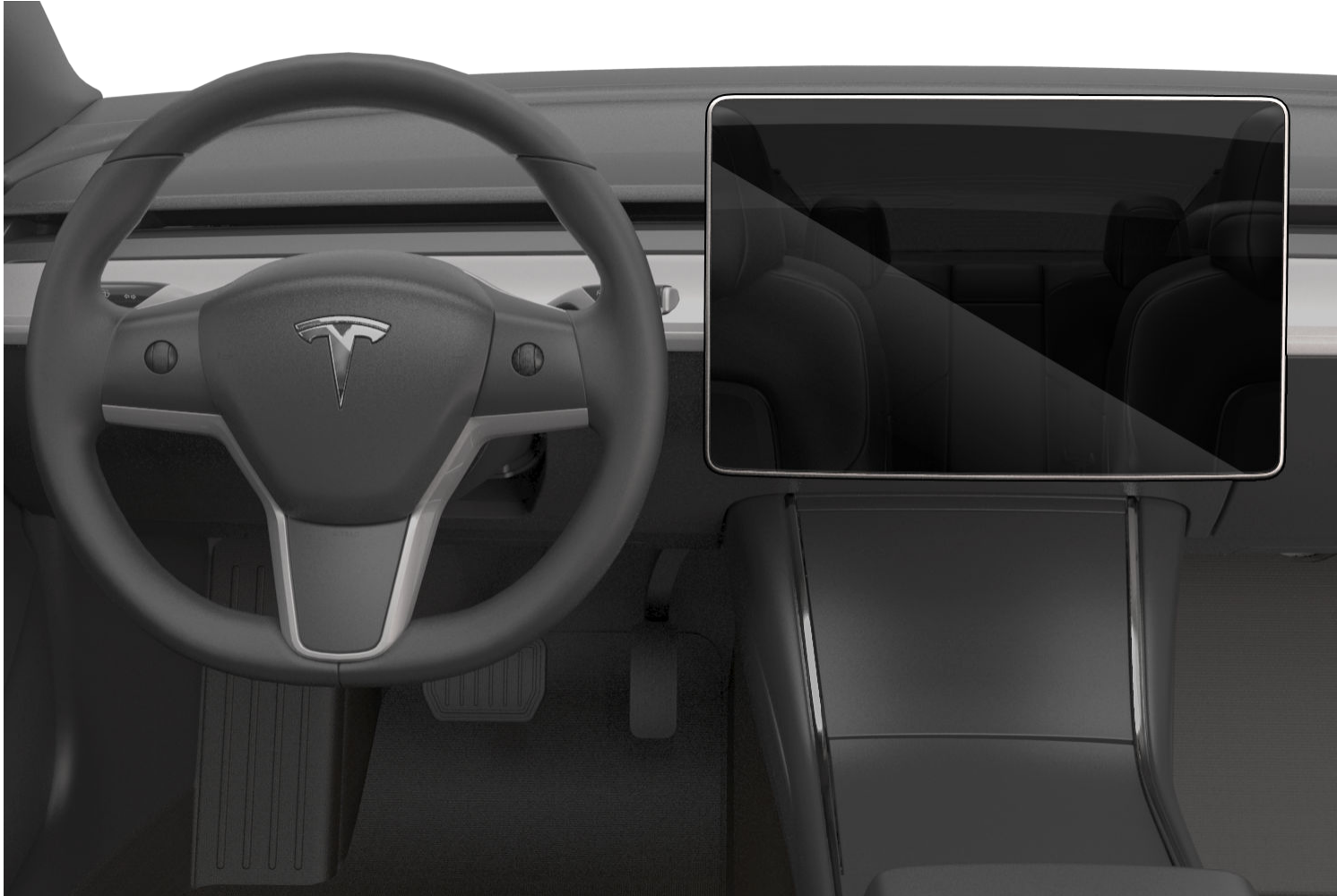
車両識別番号 (VIN)

Model 3 は車両の VIN で確認できます。運転席側のフロント ガラス越しから見える、ダッシュボード上側の刻印プレートに記載されています。Model 3 は英数字 4 桁目にある「3」で識別できます。

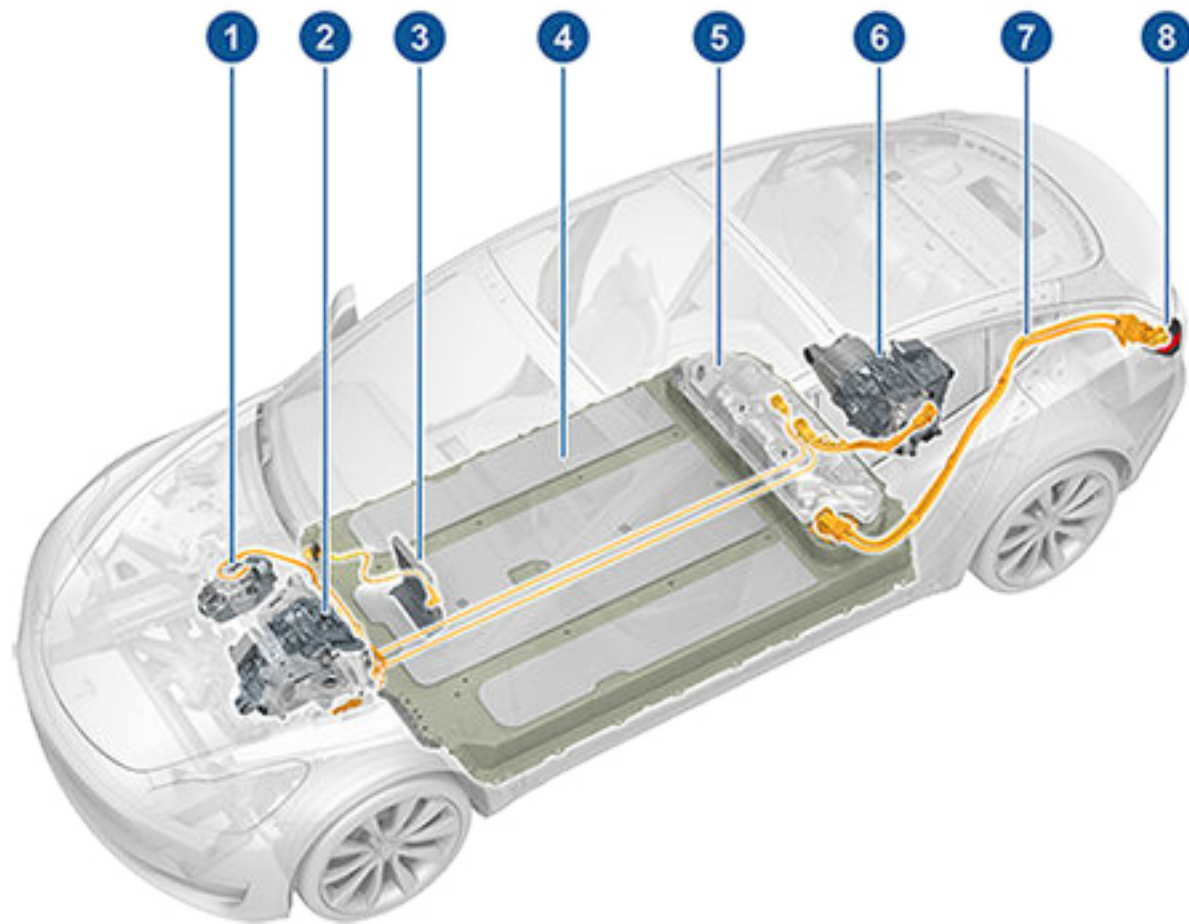


タッチスクリーン

Model 3 は、横向きに取り付けられた 15 インチ（38 cm）のタッチスクリーンで車両を識別できます。



高電圧コンポーネント

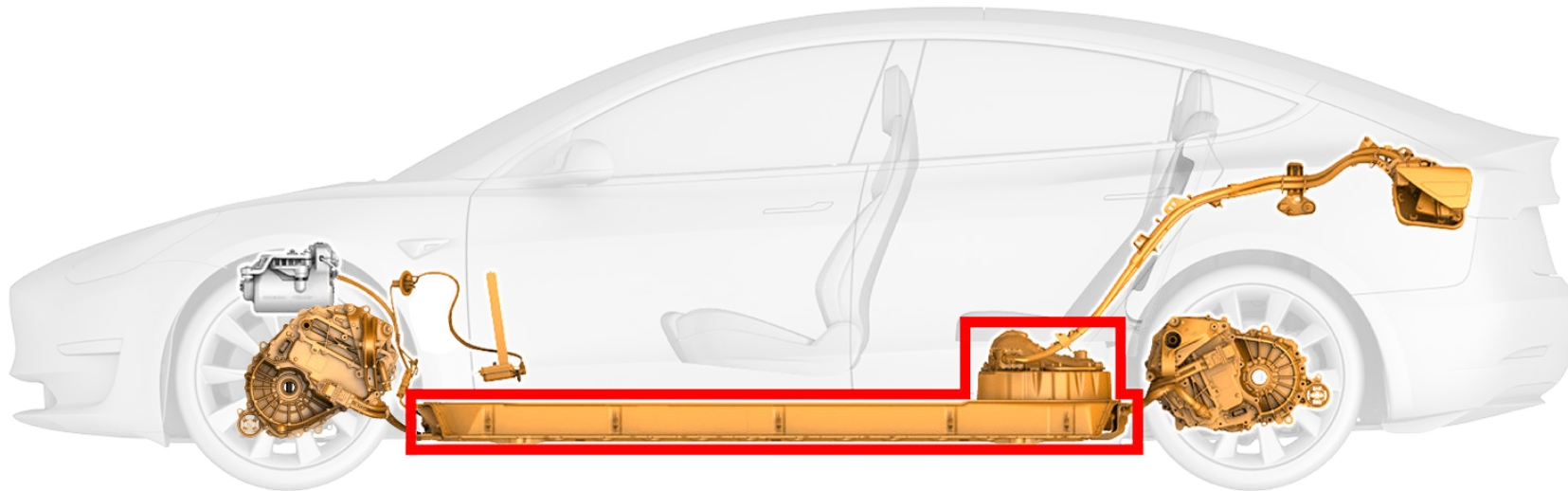


1. A/C コンプレッサー
2. フロント ドライブ ユニット (装備されている場合)
3. キャビンヒーター
4. 高電圧バッテリー
5. 高電圧バッテリー サービス パネル
6. リアドライブユニット
7. 高電圧ケーブル配線
8. 充電ポート

高電圧バッテリー

Model 3 には、フロアにマウントされている 400 ボルトのリチウムイオン高電圧バッテリーが搭載されています。車両の下部をリフトする際にこの高電圧バッテリーに決して損傷を与えないように注意してください。レスキューツールを使用する際には、フロアパンを損傷しないように特に注意してください。車両を正しく持ち上げるには、[車両を持ち上げるには](#) 23 ページのにある作業指示を参照してください。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。

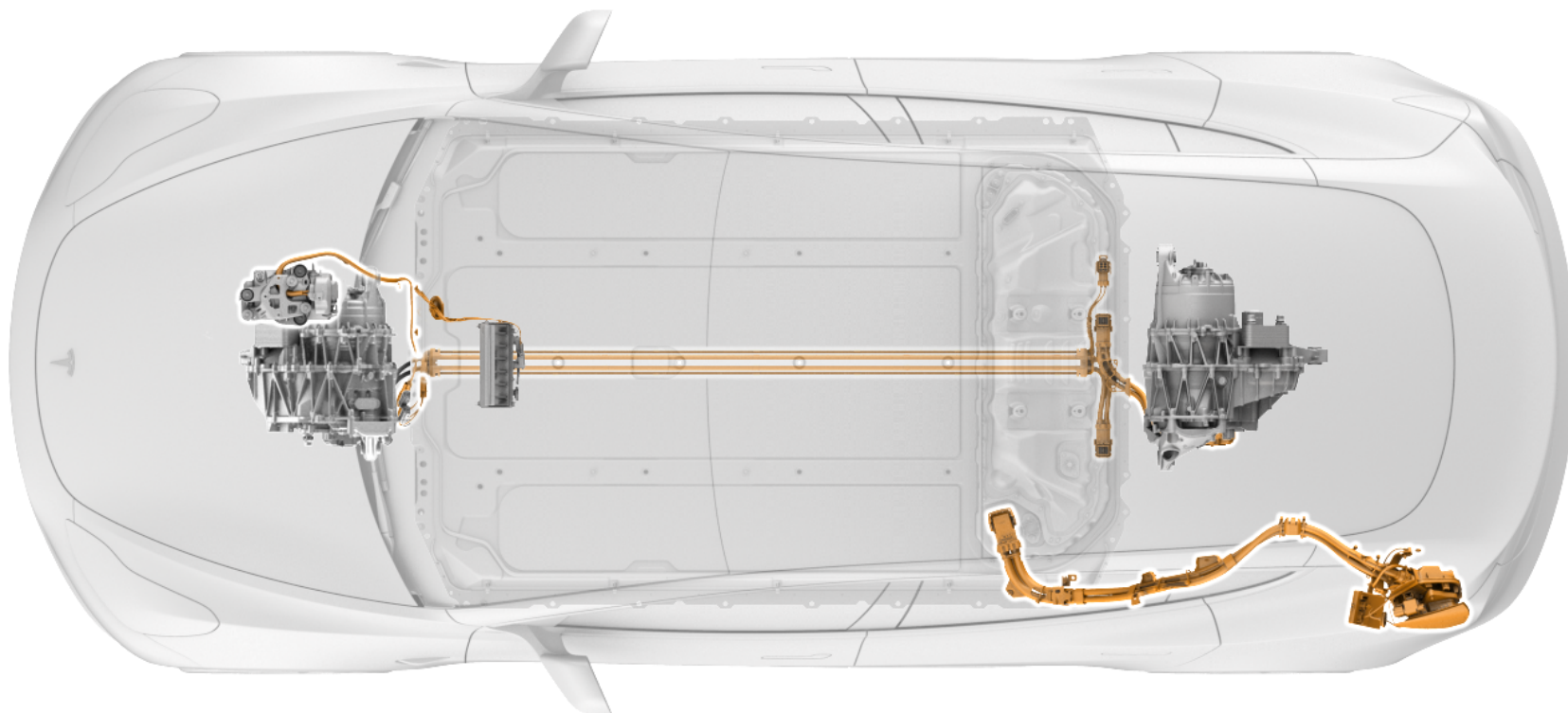




高電圧ケーブル

高電圧ケーブルは、オレンジ色で示されています。

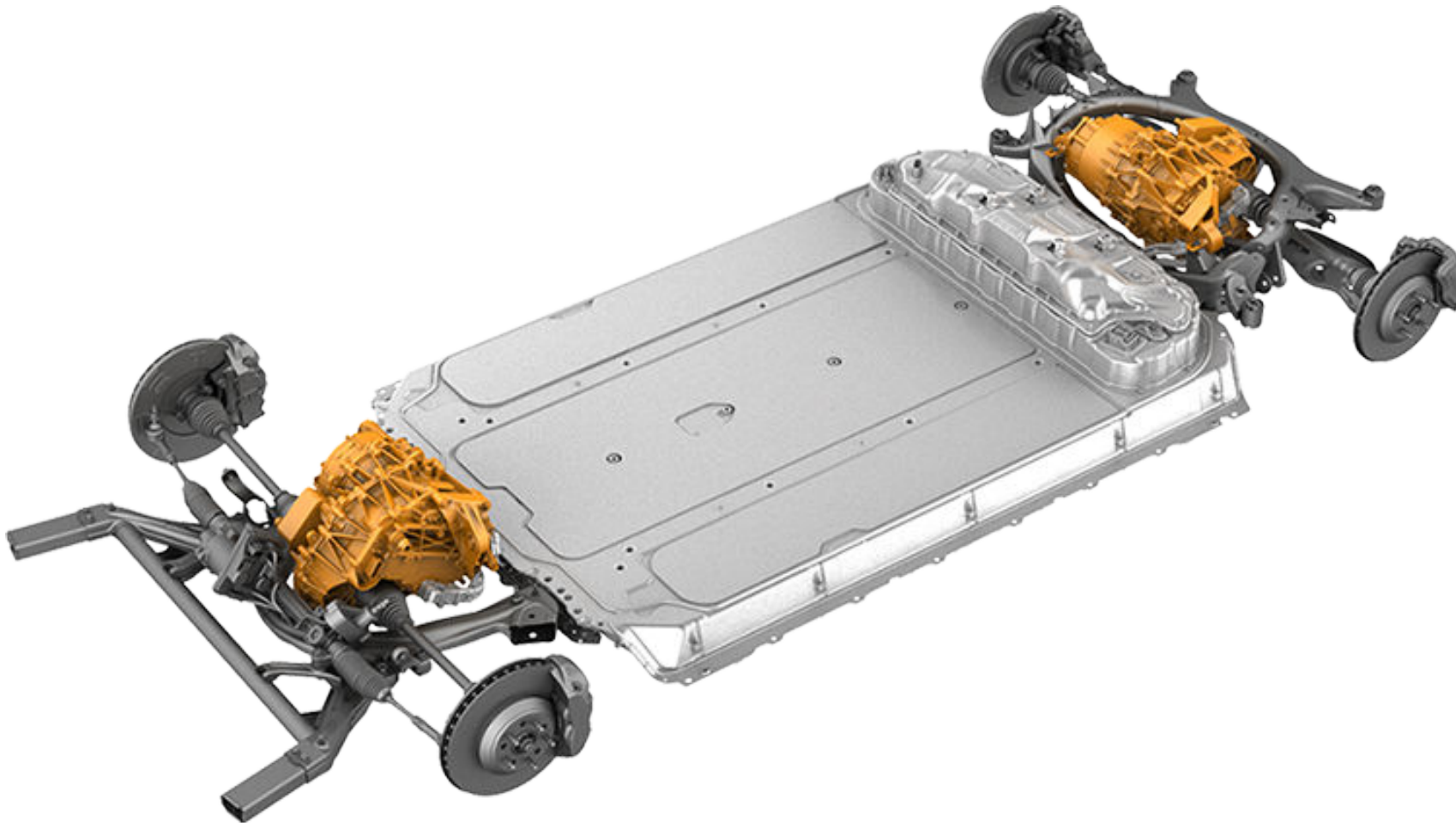
メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。



ドライブユニット

リア ドライブユニットは、リアホイールの間に搭載されています。フロント ドライブユニット（搭載されている場合）は、フロントホイールの間に搭載されています。ドライブユニットは、高電圧バッテリーからの直流電流（DC）をホイールに動力を与えるためにドライブユニットが使用する三相交流電流（AC）に変換します。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。

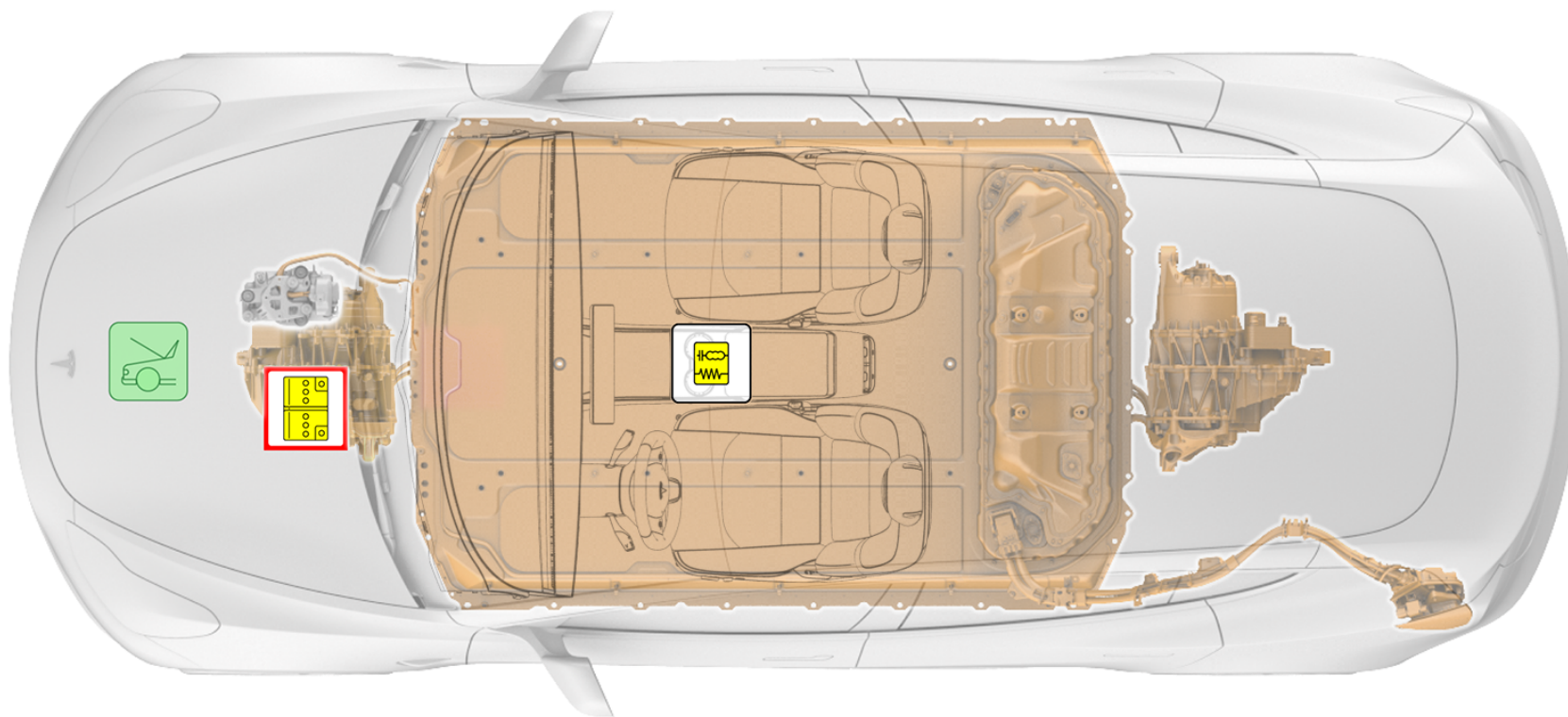




12V バッテリー

Model 3 には、高電圧システムに加えて低電圧電気システムがあります。その 12V バッテリーは、SRS、エアバッグ、ウィンドウ、ドアロック、タッチスクリーン、インテリアおよびエクステリアのライト類を動作させます。高電圧システムのは 12V バッテリーを充電し、12V バッテリーは高電圧接点に電力を供給し、高電圧電流が高電圧バッテリーを通るようにします。赤色ラインで示された 12V バッテリーは、ボンネットとプラスチックアクセスパネルの下に設けられています。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。



車輪 4 本すべてを車輪止めで固定

Model 3 は静かに動くため、電源が切れていると憶測で作業しないでください。ドライバーはギアをドライブに入れた際に Model 3 が「クリープ」するかどうか設定することができます。この設定がオフの場合、Model 3 はギアをドライブやリバースに入れてもアクセルペダルを踏まない限り動きません。ただしこの場合も Model 3 は動かないと決めつけしないでください。停車時、タイヤには必ず車輪止めをしてください。



ギアをパーキングを入れる

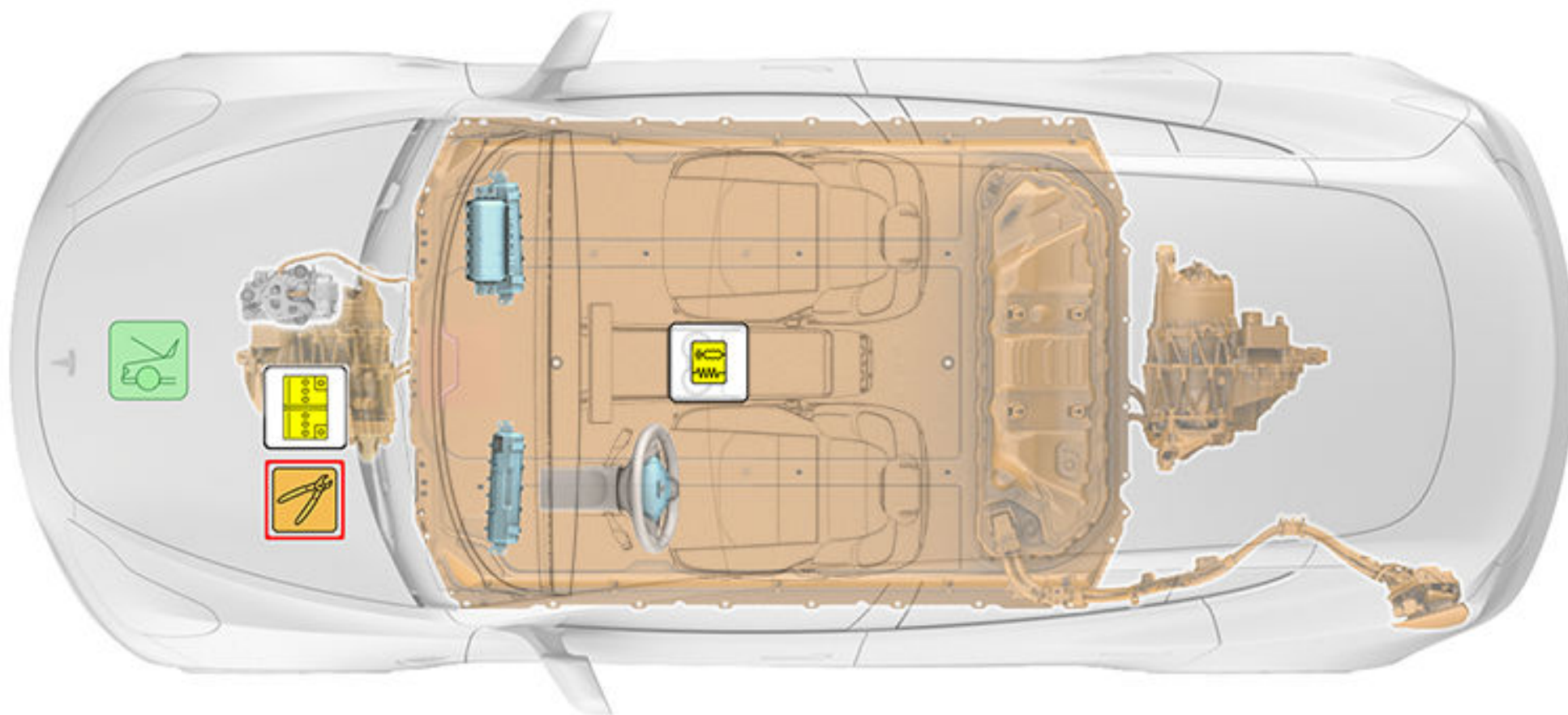
Model 3 は静かに動くため、電源が切れていると憶測で作業しないでください。ギアがドライブやバックに入っている場合、アクセルペダルをわずかも踏むと Model 3 は即座に加速します。サイドブレーキを確実にかけるには、ギアセレクターの端にあるボタンを押して、パーキングに切り替えます。Model 3 がパーキングに入っている時は、パーキングブレーキが自動的に作動し、タッチスクリーンにパーキング (P) と表示されます。



電源遮断ループ

電源遮断ループは、定電圧ハーネスです。この電源遮断ループを切断すると、高電圧バッテリーの外側にある高電圧システムが遮断され、SRS およびエアバッグのコンポーネントが無効化されます。電源遮断ループにアクセスして切断を行うには、[電源遮断ループの切断](#) 13 ページの を参照してください。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。

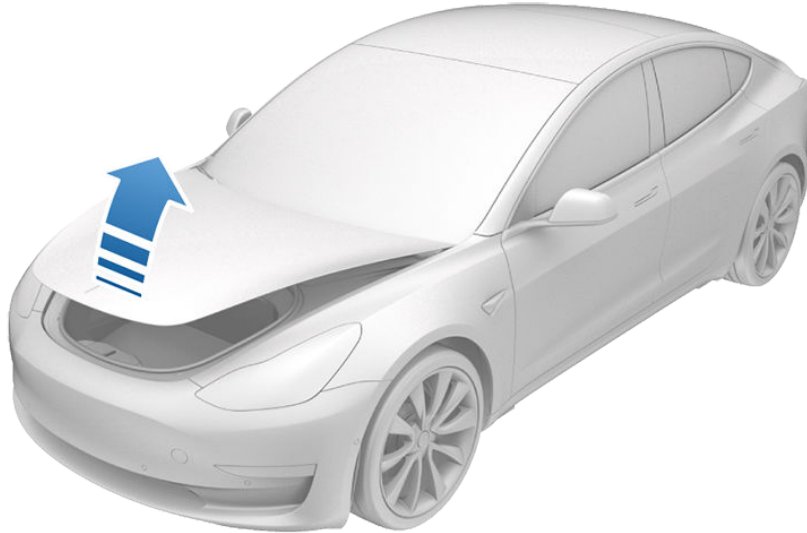


▲ 警告：無効化の手順に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。大怪我や死亡事故を防ぐためにも、高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触がないようにしてください。

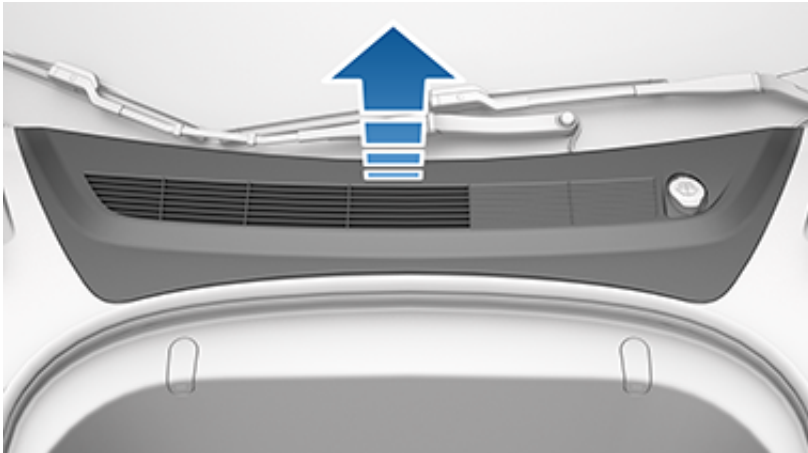
電源遮断ループの切断

高電圧遮断ループを切断する際は 2 か所を切断し、切断部分をすべて取り除いてください。これにより、配線が誤って接触することを防ぎます。

1. フードを開きます。作業方法は、[ボンネットを開放](#) 27 ページの を参照してください。

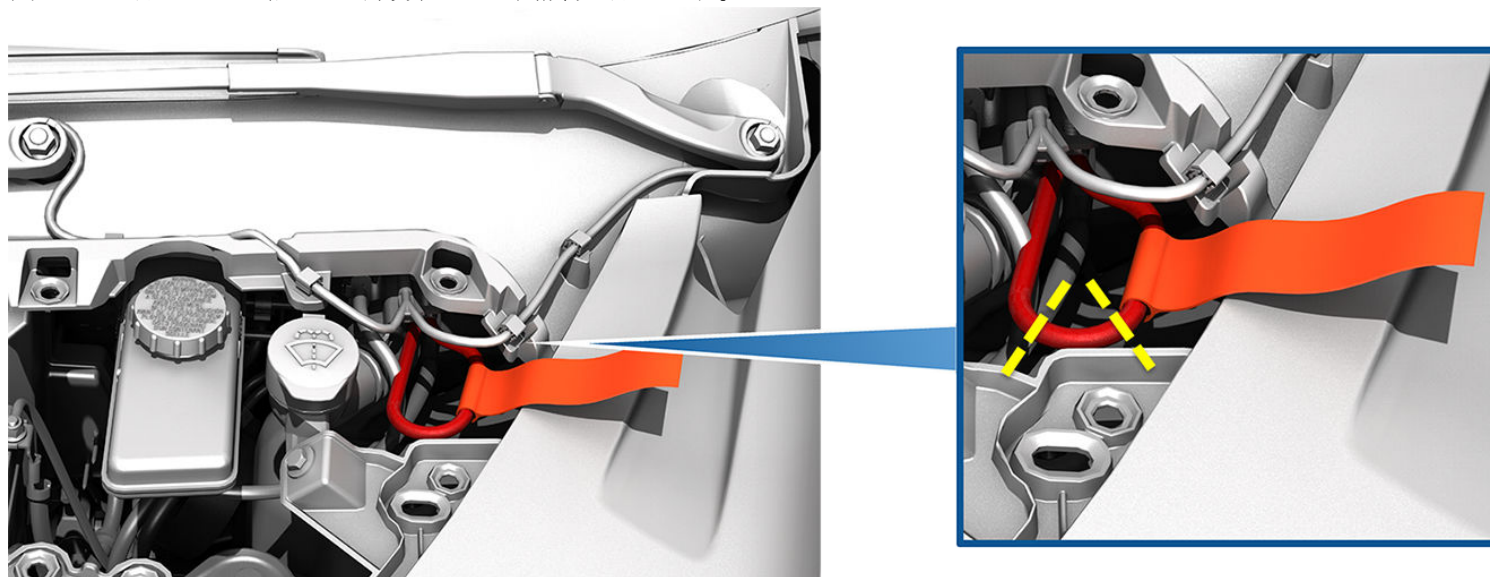


2. アクセスポネルを上方向に引き、パネルを留めているクリップを外してアクセスポネルを取り外します。





3. 高電圧遮断ループ（赤色の部分）を 2 箇所切断します。

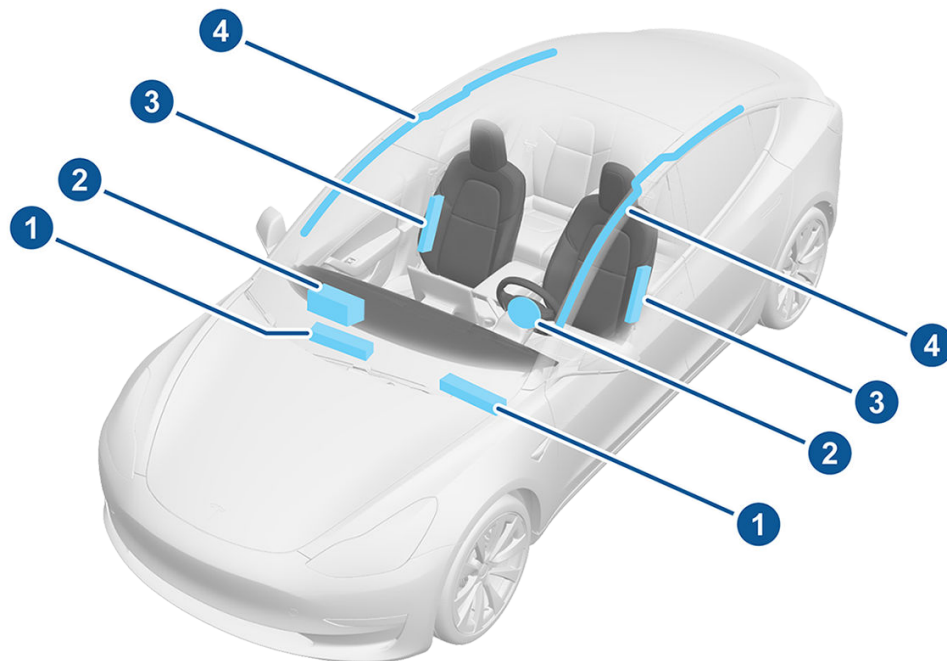


エアバッグ

エアバッグは下図に示す位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

注記：Model 3 は、エアバッグが展開したとき、高電圧バッテリーの外にあるすべてのコンポーネントやケーブルにおいて高電圧が無効となるように設計されています。

メモ：北米の左ハンドル車両を表示。右ハンドル車両では、エアバッグの位置が助手席と運転席とでは反対になります。



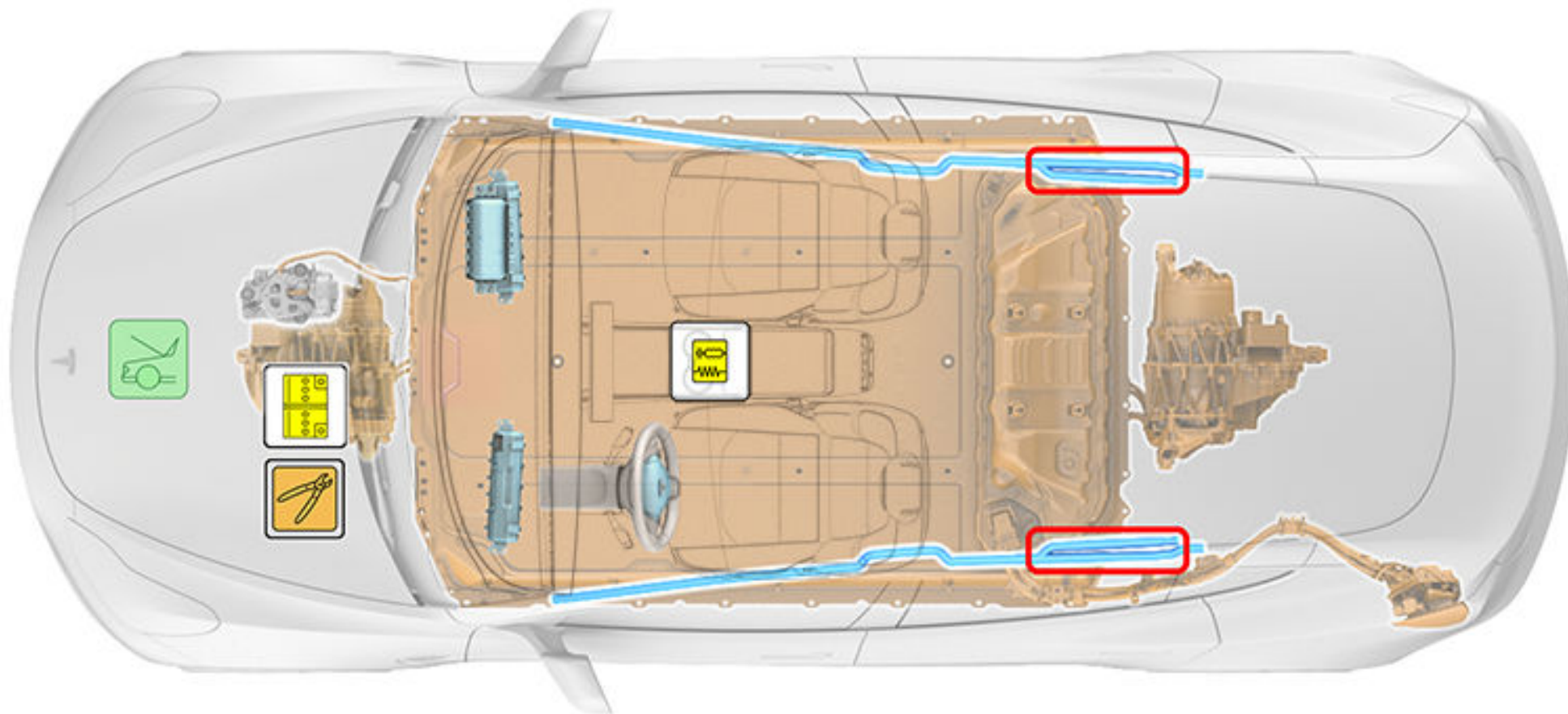
1. ニーエアバッグ（北米仕様のみ）
2. フロント エアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ
4. カーテン エアバッグ

▲ 警告：SRS 制御装置には、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約 10 秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから 10 秒間は、SRS 制御装置に触れないでください。



エアバッグ膨張用シリンダー

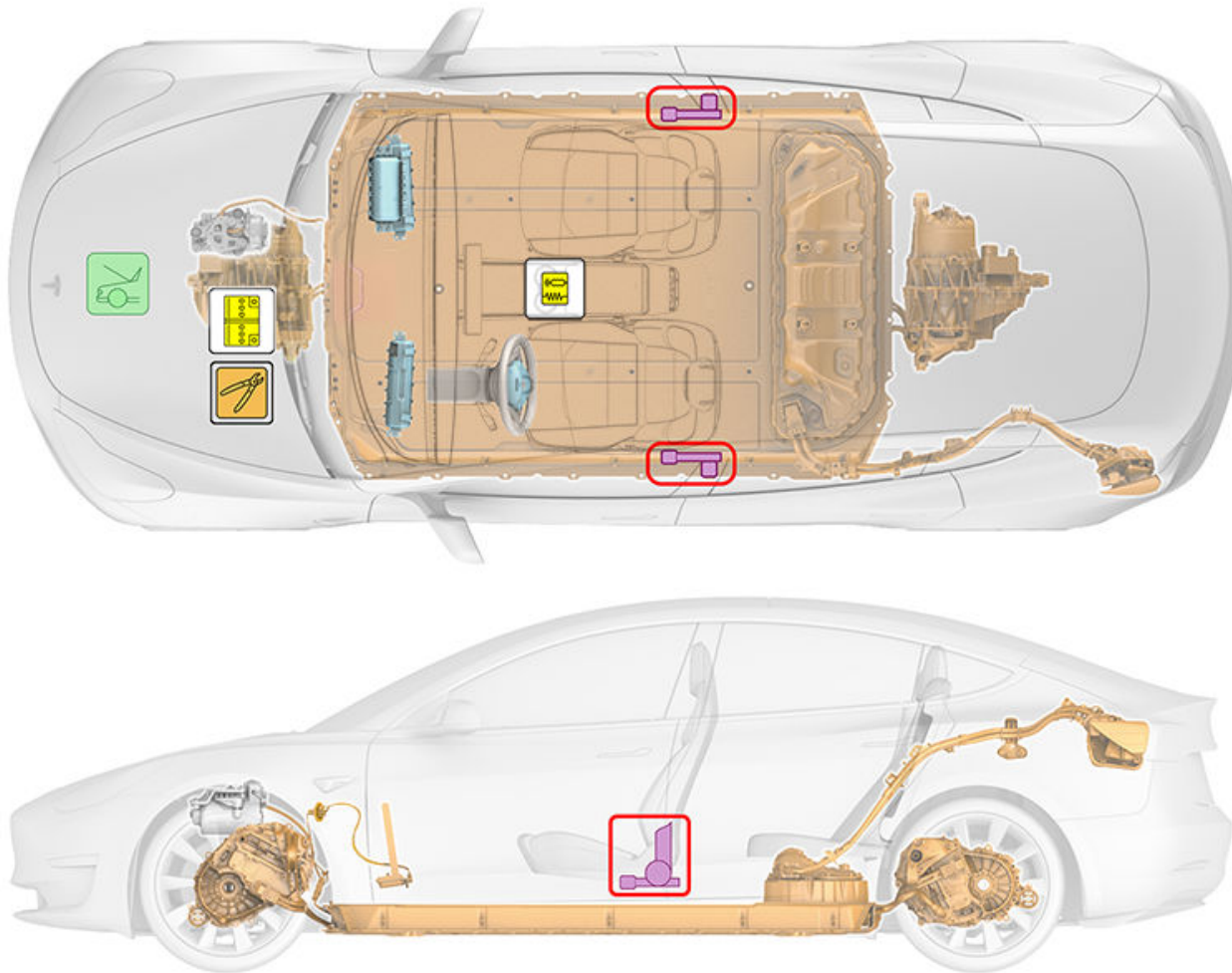
赤で示してあるエアバッグ膨張用シリンダーは、ルーフ付近から車両後方に向けて配置されています。



▲ 警告：SRS 制御装置には、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約 10 秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから 10 秒間は、SRS 制御装置に触れないでください。

シートベルト プリテンショナー

赤で示してあるシートベルト プリテンショナーは B ピラーの底部にあります。



▲ 警告 : SRS 制御装置には、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約 10 秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから 10 秒間は、SRS 制御装置に触れないでください。

補強材と超高強度鋼

Model 3 は、衝突時に乗員を保護するために補強されています。使用箇所を切断または破壊するには適切なツールを使用してください。下図では、補強箇所が青緑色で示されています。

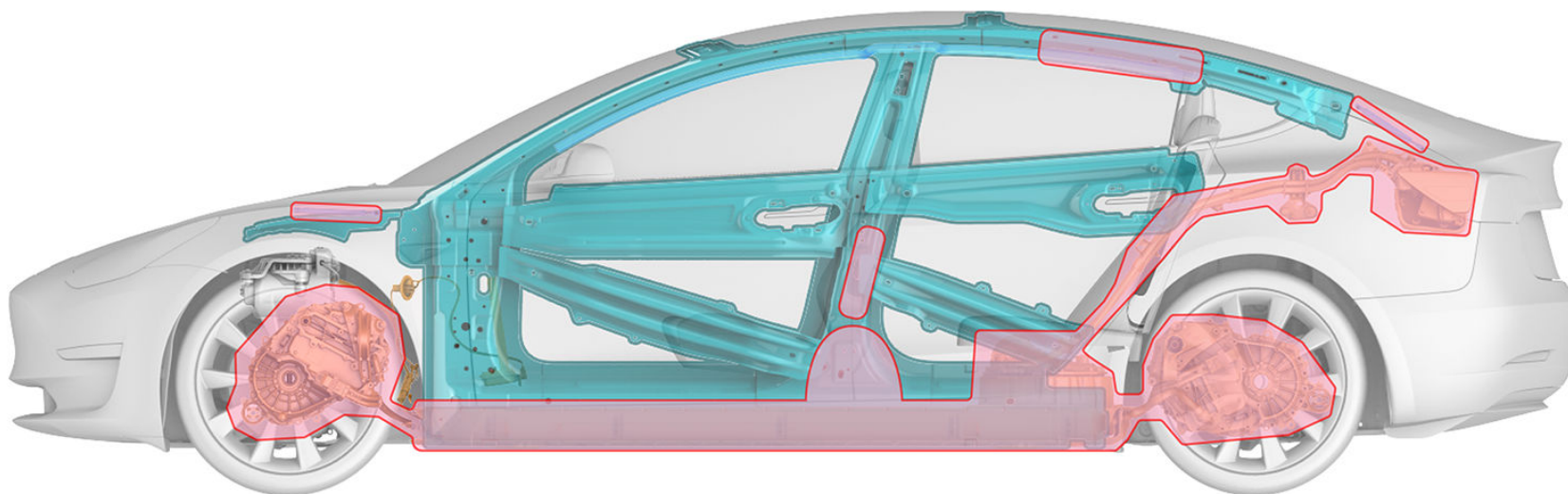


- ▲ **警告：** Model 3 を切断する場合は、油圧カッターなど適切なツールを使用し、必ず PPE を着用してください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。
- ▲ **警告：** 無効化の手順に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。大怪我や死亡事故を防ぐためにも、高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触がないようにしてください。

切断禁止ゾーン

Model 3 には、高電圧、ガストラット、SRS コンポーネント、またはその他の危険性が存在するため「切断禁止エリア」と定義された領域があります。これらのゾーンを絶対に切断したり、破壊したりしないでください。これに従わないと、重大な怪我や死亡事故につながる恐れがあります。「切断禁止ゾーン」はピンクで示されています。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。

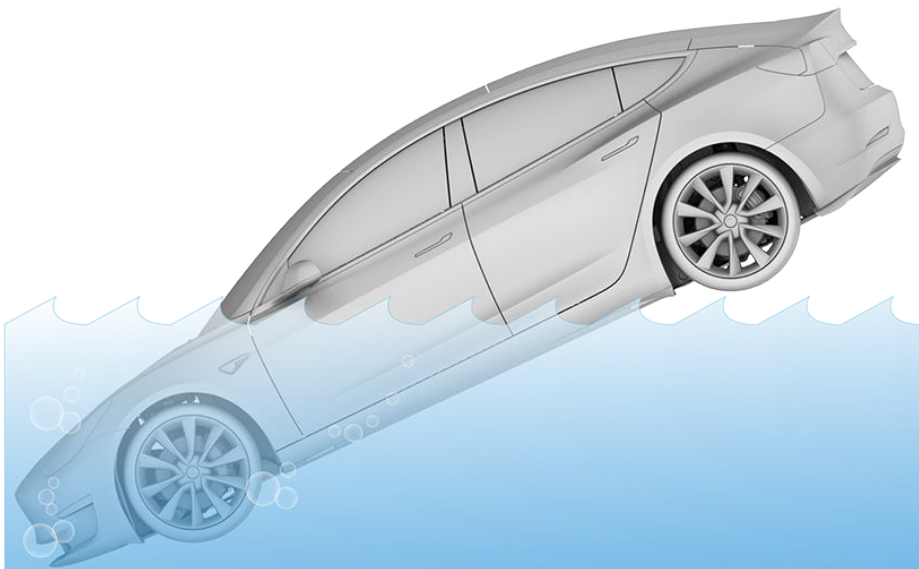


- ▲ **警告：** Model 3 を切断する場合は、油圧カッターなど適切なツールを使用し、必ず PPE を着用してください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。
- ▲ **警告：** 無効化の手順に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。大怪我や死亡事故を防ぐためにも、高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触がないようにしてください。



全体もしくは一部が水没した車両

水没した Model 3 は、水没した通常の車両と同様に取り扱ってください。水没により、Model 3 の車体の感電リスクが高まることはありません。水没車両を扱う時は適切な PPE を着用してください。車体を水中から引き上げて、通常の高電圧切断作業を実施してください。



▲ 警告：適切な PPE を着用しないで水没した車体を取り扱っていると、重傷や死亡につながる恐れがあります。

フロアパンへの荷重

高電圧バッテリーはフロアパンの下に配置されています。決して Model 3 の内側からフロアパンを押さないでください。フロアパンを押すと、高電圧バッテリーが破損したり、高電圧ケーブルが損傷したりすることがあるため、重大な損傷や死亡事故を招く恐れがあります。





消火作業

高電圧バッテリーの消火には水を使用してください。バッテリーが燃えたり、高温にさらされたり、熱やガスを発生している場合は、大量の水でバッテリーを冷却してください。バッテリー火災を完全に消火して冷却するには、約 3,000 ガロン (11,356 リットル) の水が必要なため、確実な給水を確立するか追加の給水を手配してください。消火用水がすぐに入手できない場合は、水が確保されるまで、粉末消火剤、CO₂、泡やその他の消火剤を使用して消火します。

バッテリーに直接水をかけてください。可能な場合には、車両を持ち上げて傾け、バッテリーに直接触れるようにしてください。自然開口（通気口や衝突による開きなど）が既に見られる場合には、バッテリーの内側にのみ水をかけてください。冷却目的のためにバッテリーを開けないでください。

高電圧バッテリーに影響を及ぼさない小さな車両火災を消火する場合は、通常の車両消火手順を採用してください。

分解点検中、絶対に高電圧コンポーネントに接触しないでください。分解点検には必ず絶縁工具を使用してください。

発熱や炎の影響で、エアバッグインフレーター、貯蔵ガス膨張シリンダー、ガストラット、その他のコンポーネントで、予期しない爆発が起こる可能性があります。火災が発生した場合は、高温域に入る前に適切な消火活動を行ってください。

バッテリー火災は完全に消火するまで最大 24 時間を要する場合があります。周辺の可燃物を保護した上で、自然消火を待つことも考慮してください。

すべての火災と煙が沈静化した後、サーマルカメラを使用して高電圧バッテリーの温度を測定し、加熱または冷却の状態を監視することができます。高電圧バッテリーに最低でも 1 時間、火、煙、または加熱がないことを確認するまで、車両を 2 次対応者（法執行機関、車両運搬者など）に引き渡さないでください。バッテリーは、車両を 2 次対応者に引き渡す前に完全に冷却されていなければなりません。2 次対応者にバッテリーが再発火するリスクがあることを必ず伝えてください。

2 次対応車が車両を傾けたり位置を変えたりして車両外に余分な水を排水します。これにより、再度発火する可能性が緩和されます。

再度発火する恐れがあるため、Model 3 が水没、火災、衝突に巻き込まれ高電圧バッテリーが破損した場合は、必ず 50 フィート (15 メートル) 以内に炎などの危険のない空地に保管してください。

▲ 警告：火災が発生した場合は、車両全体に通電してください。必ず SCBA など完全装備の PPE を着用してください。



高電圧バッテリー - 火災による損傷

バッテリーが燃えたり、高温になると、有害な蒸気が発生します。これらの蒸気は、揮発性有機化合物、水素ガス、二酸化炭素、一酸化炭素、すす、およびニッケル、アルミニウム、リチウム、銅、コバルトおよびフッ化水素の酸化物を含有する粒子を含んでいる可能性があります。救援隊員は、SCBA を含む完全な PPE を必ず着用して自分達を保護し、一般の人が風下で蒸気にさらされないように適切な手段を講じる必要があります。フォグストリームあるいは陽圧換気ファン(PPV)を使って煙や蒸気の向きを変えてください。

高電圧バッテリーは、リチウムイオン電池でできています。これらの電池は乾電池とみなされます。損傷を受けるとごく少量のバッテリー液が漏れる場合があります。リチウムイオンのバッテリー液は無色です。

高電圧バッテリー および ドライブ ユニットは、一般的な自動車用グリコール クーラントを使用した水冷を採用しています。損傷を受けると、この青い液体がバッテリーから漏れる場合があります。

高電圧バッテリーに損傷があると、バッテリーセルの温度が急激に上昇する場合があります。高電圧バッテリーから発煙のある場合には、バッテリーが高温になっていると判断して[消火作業](#) 21 ページのの手順に従って適切な措置を講じてください。

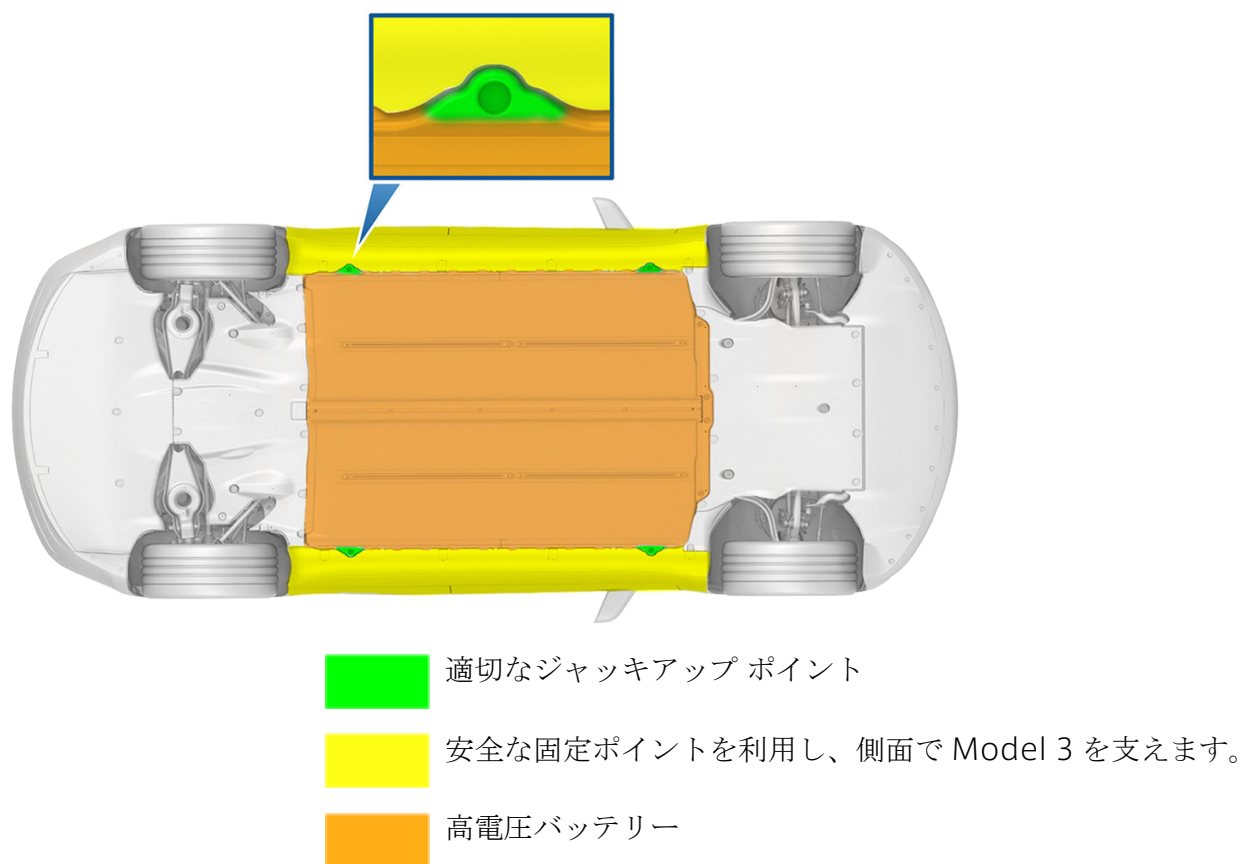


ジャッキアップポイント

高電圧バッテリーはフロアパンの下に装備されています。車台の大部分にはこの高電圧バッテリーが収められています。Model 3 をジャッキアップしたり固定させるときは、緑色に示されている指定されたジャッキアップポイントのみを使用してください。

▲ **警告：**ファーストレスポnderが NFPA（全国防火協会）のトレーニングを受け技術者水準の資格を有し、車両のジャッキアップポイントに詳しい場合に限り、車両をジャッキアップを行い調節してください。車両をジャッキアップし調節している間は、高電圧バッテリーや他の高電圧コンポーネントに決して触れないように注意喚起を行ってください。

▲ **警告：**Model 3 をジャッキアップするために高電圧バッテリー部分を使用しないでください。





車外からドアを開ける

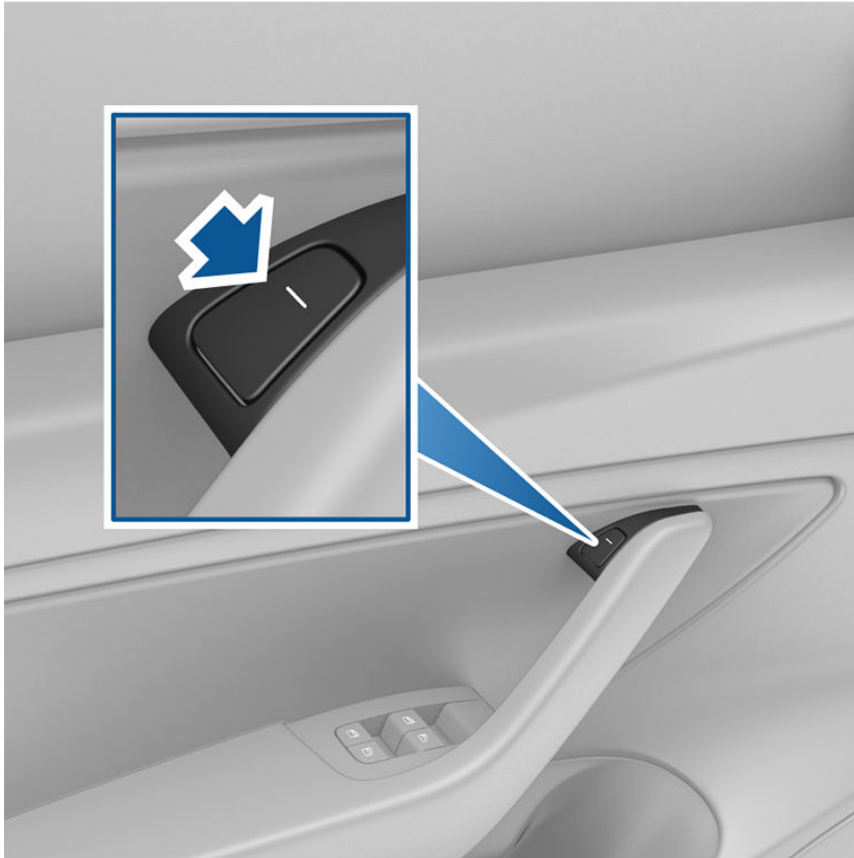
外側から Model 3 のドアを開けるには、ドアハンドルの幅の広い部分を内側に押してからドアを引いて開きます。

メモ：ドアハンドルが機能しない場合は、ウインドウの内側に手を入れて機械式ハンドルを使って手動でドアを開けます。[電力なしでフロント ドアを開く](#) 26 ページのを参照してください。



電力のある状態でドアを車内から開ける

12V 電源が有効な状態で Model 3 のドアを内側から開くには、ドアパネルの近くにあるボタンを押します。





電力なしでフロント ドアを開く

12V 電力なしで Model 3 のフロントドアを内側から開くには、ウィンドウスイッチの近くにある機械式リリースハンドルを持ち上げます。

メモ：機械式リリースハンドルはフロントドアのみに装備されています。



ボンネットを開放

Model 3 は従来の内燃機関エンジンを搭載していません。したがって、本来エンジンが収容されている箇所は、追加の収納スペースとして使われています。Tesla ではこのエリアを「フロント トランク」または「フランク」と呼んでいます。

12V 電力を有効にしてフードを開くには、タッチスクリーン上の「開く」 ボタンをタッチします。

12V 電力なしでボンネットを開ける場合：

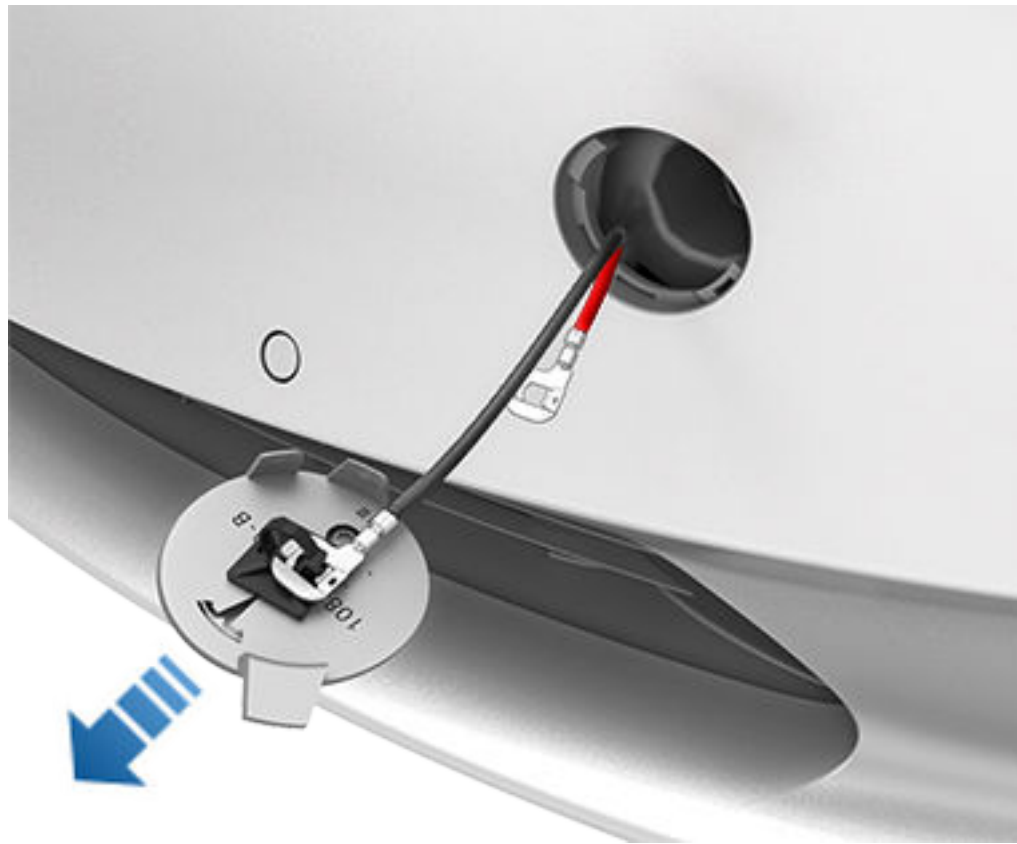
注記: Model 3 がロックされていて 12V 電源が供給されている場合、以下の手順ではフロントトランクを開くことはできません。

1. 外部 12V 電源の位置を確認します。
2. 牽引ボルト カバーの右上を強く押してカバーを外し、持ち上がった部分を手前に引いてください。





3. 2本の配線を牽引ボルト用開口部から引き出して、車両側の端子を露出します。



4. 外部 12V 電源装置の赤色プラス (+) 側ケーブルを車両側の赤色プラス (+) 側の端子に接続します。

5. 外部 12V 電源装置の黒色マイナス (-) 側ケーブルを車両側の黒色マイナス (+) 側の端子に接続します。



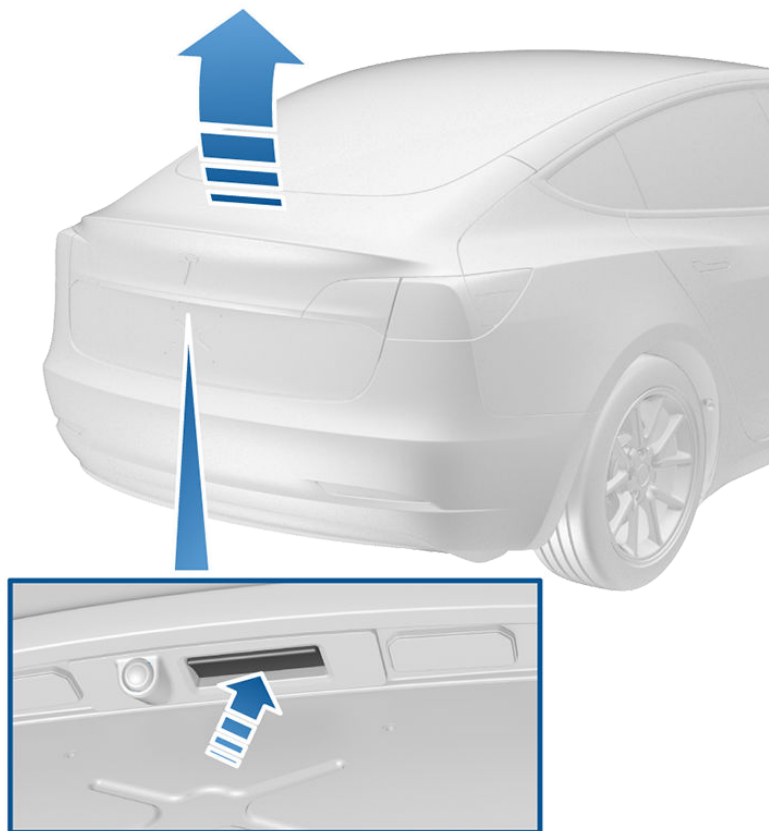
6. 外部電源をオンにします (外部電源の製造元の取扱説明書を参照)。フードラッチがすぐにリリースされ、フードを開けてフロント トランク部にアクセスすることができます。
7. 黒色マイナス (-) ケーブルから始めて外部電源ケーブルを外します。



トランクの開け方

トランクに開けるには以下のいずれかの方法を使用してください。

- タッチスクリーン上で関連した「開く」ボタンをタッチし、トランクを開けます。
- トランクのエクステリア ハンドル下側にあるスイッチを押します。





車両を押す

▲ **警告：**以下の説明は、交通の安全を高めるために Model 3 をごく短距離移動させるときに使用することを目的としています。Model 3 の輸送方法については、タッチスクリーン上のオーナーズマニュアルまたはグローブボックス内のロードサイドアシスタンスガイドをご参照ください。お客様の車両の輸送中に発生した損傷は保証対象にはなりません。

▲ **警告：**Model 3 がニュートラルまたは輸送モードになっていない状態で車両を押すと、リア モーターが過熱する恐れがあります。また、電気コンポーネントが露出している場合、高電圧遮断回路が遮断されていても感電する恐れがあります。

火災や高電圧の危険性が少なく（たとえば、交差点で停車した後に車両が発進しないなど）12V 電源がある場合は、Model 3 を道路から迅速に押し、路肩に寄せることができます。ドライバーが運転席にいる場合には、Model 3 のギアをニュートラルに切り替え車両を押します。ドライバーが運転席にいない場合、Model 3 は（ニュートラルにギアを切り替えた直後でも）ドライバーが車両を離れたことを検知すると、自動的にパーキングに切り替えます。

ドライバーが運転席にいなくても、Model 3 をニュートラルの状態に保つ（パーキングブレーキを解除し、車両を押せるようにする）には、タッチスクリーンから「輸送モード」を有効にしてください：

1. 必ず Model 3 をパーキングに入れてください。
2. ブレーキペダルを踏み込んだままタッチスクリーン上で「コントロール」>「サービス」>「牽引」の順にタッチします。
3. 青色に変わるまで輸送モードボタンを押し続けます。Model 3 は、ブレーキが解除され、押して動かしたり（歩行する速度以下）、ウィンチで引き上げることができます。

メモ：Model 3 「輸送モード」を有効にするには、近くにキーがあり 12V の電源を使用できることが検出されなければいけません。

「輸送モード」をキャンセルするには、Model 3 をパーキングに切り替えてください。

メモ：Model 3 を時速 8 km（5 マイル）以上の速度で牽引したり、12V 電源が低下している場合、「輸送モード」が自動的に解除され、パーキングブレーキがかかります。Model 3 は、輸送モードがキャンセルされる直前にホーンを鳴らします。

メモ：Model 3 がキー（認証されたスマートフォン、キー）を検出できない場合、輸送モードボタンが灰色に表示され、輸送モードの使用が不可能になります。Tesla ロードサイドアシスタンスに連絡します。

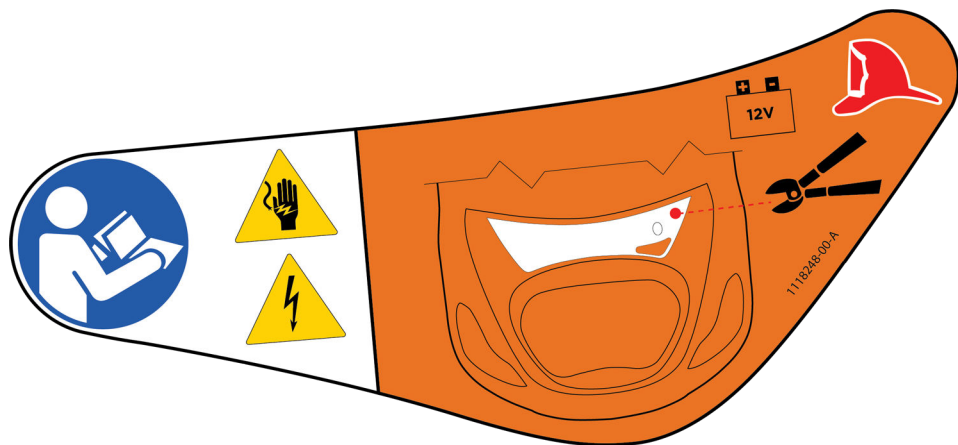
メモ：Model 3 に 12V 電源がない場合、タッチスクリーンは反応しません。外部 12V 電源供給を使用してフードを開き、車両の補助 12V バッテリーを使用してジャンプ スタートさせます。グローブボックス内のロードサイドアシスタンス ガイドを参照（「コントロール」>「グローブボックス」をタッチ）するか、「Tesla ロードサイドアシスタンス」に電話して指示を受けてください。

高電圧ラベルの例

以下に示すのは、高電圧コンポーネントに貼られているラベルの例です。お住いの地域や車両製造日により、ラベルが異なったり他言語へ翻訳されていたりする場合があります。

注記：新しい車両には高電圧ラベルが貼られていない場合があります。高電圧コンポーネントを警告するラベルに頼り過ぎず、注意して作業を行ってください。常に、高電圧コンポーネントは通電状態であるという前提で作業を行ってください。

⚠ 警告：高電圧コンポーネントにラベルが付けられていない場合もあります。Model 3 を切断するときは、必ず適切な個人用保護具（PPE）を着用してください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。





お問い合わせ

第1次および第2次の緊急救援隊員はTesla ロードサイドアシスタンスに連絡を入れる必要があります。連絡先電話番号は、<https://www.tesla.com/roadside-assistance> をご参照ください。

第1次緊急救援隊員およびトレーニング教官の方でご質問がある場合は、firstrespondersafety@tesla.com までご連絡ください。

TESLA

©2012-2019 TESLA, INC.

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc.およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。

TESLA TESLA MOTORS TESLA
ROADSTER

MODEL S MODEL X MODEL 3

TESLA

